



## 巻頭言

### ごあいさつ

代表取締役専務  
研究開発本部長 山 林 直 之

日新電機グループの事業ポートフォリオは、環境意識の高まりによる再生可能エネルギーの急激な普及や、エレクトロニクス機器分野で常態化している先行投資競争の大きな波をも事業の成長に活かしてきたことで、緩やかに変化していますが、平均して見てみると、依然として広義の電力市場への依存度が高い事業構造を有しているように見えます。

しかしながら当社が取り扱っている機器について、重厚長大のイメージを持たれているとすれば、それは過去の話で、既に中身は大きく変化しており、再生可能エネルギー用パワーコンディショナはパワーエレクトロニクス技術の粋を集めた精密電子機器であるし、SPSS<sup>\*1</sup>に代表されるトータルソリューションを志向した受注が軌道に乗り始めたことでシステムの価値を左右するソフトウェアの比重が高まってきています。また、ライフサイクルエンジニアリング分野で展開している保守管理ビジネスが軌道に乗ってきたことで、ビジネスモデルの転換も進みつつあります。この流れは、当社グループの事業が今後更にグローバル化していくための大きな支えになることは自明の理と期待しています。

国内における来るべき電力自由化や発送電分離、グローバルに進展している送電システムの強化にも対応できるような技術開発・製品開発も着実に進んでおり、本号にもその一部を掲載していますように、顧客視点でのキメ細かな工夫を支える技術開発や、頑固に守り続けている信頼感ある製造工程が当社の競争力の源だと確信しています。

また当社グループではビーム・真空応用分野という括りのポートフォリオとして、自動車分野では摺動部品への低摩擦コーティングサービスや樹脂製品への電子線照射装置販売、エレクトロニクス分野ではICやフラットパネルディスプレイ（FPD）向けイオン注入装置販売等の事業を展開してきました。この分野の需要動向は既に新しいステージに入ってきており、今後、ファイン化や省エネ化がキーワードになるであろうと考えられ、まずは、表面精度が格段に向上したDLC<sup>\*2</sup>膜のコーティング装置を開発しましたのでその成果を本号に掲載させて頂きました。今後もICの微細化や低消費電力化に対応した機器の開発成果を順次発表できるよう、この関連の研究開発活動の強化に取り組んでいきたいと考えております。

本号には一年間の技術成果をまとめて掲載しておりますので、当社事業の方向性をご理解頂く際にご活用頂ければ幸いです。また、同時に、将来の事業を支えるであろう取り組みについても掲載させて頂きました。

中長期計画「ビジョン2015」の活動を通して築いてきた事業基盤を発射台にして、今年は、次の目標に向けて始動することになります。研究開発の成果がお客様の課題解決に役立ち、ひいては、社会への貢献に何らかの寄与ができることを願い、結果として当社グループの事業が大きく飛躍することを期待して、巻頭のごあいさつといたします。

※1：スマート電力供給システム（Smart Power Supply Systems）

※2：Diamond-Like Carbon